

『新しい資本主義』について

令和3年（2021年）10月4日、岸田内閣が発足し、日々の報道等で“新しい資本主義”という言葉を目にするようになりました。

“新しい資本主義”とは一体どのようなものなのか？

今回は、「新しい資本主義実現会議」での議論から、その概要について迫って参ります！

その前に・・・

資本主義とは

“新しい資本主義”の前に、まず、“資本主義”とはどのようなものか振り返ってみます。一言でいえば、「自由な経済体制」のことを指します。資本主義においては、“働いたらその労働力に応じて報酬が得られる”という制度であり、自由に経済活動を行える社会です。

なお、日本が資本主義社会になったのは、明治維新以後とされています。明治維新において「土農工商制度」が廃止され、「市民が好きな職につける」といった資本主義の基礎が築かれました。世界的には18世紀後半から19世紀半ばに起こった産業革命により、資本主義が発達した歴史があります。

(引用元)

内閣官房WEBサイト

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.htm

JACCSWEBサイト

<https://www.jaccs.co.jp/lesson/moneyplan/0088/>

『新しい資本主義』について

新しい資本主義とは

新しい資本主義では、前述(「資本主義とは」)を前提として「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとして掲げています。「新しい資本主義実現会議」では、この実現に向けて、ビジョンを示し、その具体化を進めるとしています。



(引用元)
内閣官房WEBサイト
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.htm

新しい資本主義実現会議とは①

岸田首相が「成長と分配の好循環」を実現しようと設置した肝煎りの会議です。議長を内閣総理大臣として、副議長に新しい資本主義担当大臣と内閣官房長官、メンバーは経済団体や民間企業のトップなどの計15人で構成されています。

会議を設置した背景には、経済成長の果実が社会全体に行き渡っていないために格差が広がっているとの問題意識があります。

新しい資本主義実現に向けた論点

- これまでの政府の取組により、経済面での成果が生み出される一方、いまだ低い潜在成長率や、コロナ禍で顕在化したデジタル対応の遅れ、非正規・女性の困窮などの課題、さらには気候変動など経済社会の持続可能性の確保、テクノロジーを巡る国際競争の激化といった新たな構造的課題を踏まえ、我が国が目指していく新しい資本主義の姿は如何にあるべきか。
- 成長と分配の好循環について、分配の原資を稼ぎ出す「成長」と次の成長につながる「分配」を同時に進めることが、新しい資本主義を実現するためのカギ。諸課題の解決に向けて、「政府」、「企業（経営者、働き手、取引先）」、「イノベーション基盤（大学等）」といった各主体が果たすべき役割、「国民・生活者」の参画の在り方、官民それぞれが役割を果たす中での協力の在り方とは何か。

指摘されている諸課題(例)

我が国を巡る国際環境の変化

- 国際的にはこれまでの資本主義含めた社会の在り方を見直すグレート・リセットの議論
- グローバル・キャピタリズムの進展（企業と国家の対立）
- テクノロジーを巡る国際競争の激化
- 気候変動など持続可能性を脅かす課題への対応

産業競争力、企業経営

- 我が国産業の稼ぐ力、国際競争力の低迷、サービス産業の低い生産性
- 基礎研究力など科学技術力の低下
- 企業の人材投資が減少
- シェアホルダー（株主）重視、短期の視点に偏り
- 企業経営でコストカット重視の傾向
- 過当競争がみられる市場環境

マクロ経済

- デフレからの脱却
- 生産性・潜在成長率の低さ
- 個々人のキャリアアップ、成長分野への労働移動
- 中間層の伸び悩み（所得・消費）

人の挑戦、活躍

- 不十分な能力開発機会・働く人の意欲
- 高齢化、過疎化など社会的課題が各方面に存在
- 女性・若者、フリーランス・非正規など多様な方々の活躍、低所得世帯・ひとり親世帯等の生活の厳しい方への支援が不十分
- 頑張る人が真に報われる社会の実現

(引用元)

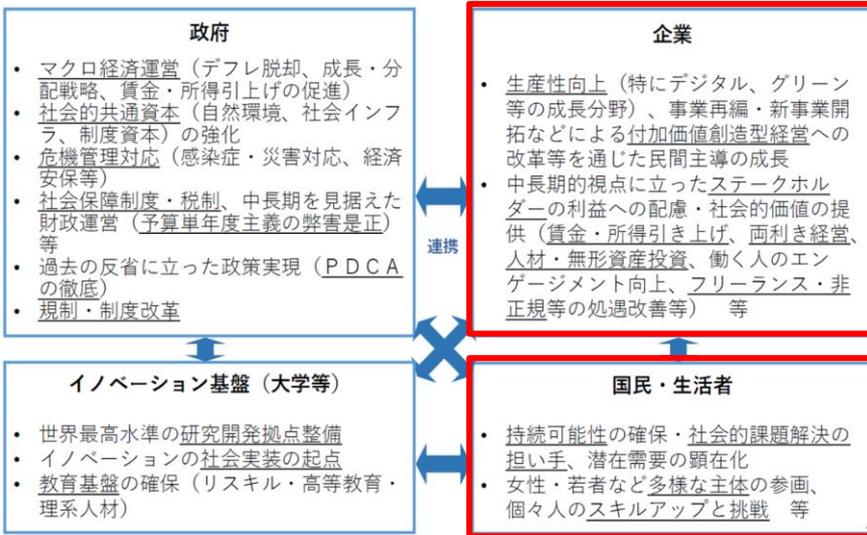
内閣官房WEBサイト

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.htm

新しい資本主義実現会議とは②

諸課題を解決していく上で
各主体(政府、企業、国民等)の
役割分担は如何にあるべきか(例)

成長と分配の好循環のイメージ



(引用元)

内閣官房WEBサイト

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.htm

今回取り上げた“新しい資本主義”というキーワード。私たちが一人ひとりにとって、より良い“現在”、そして、“未来”を切り開いていくため、政府、企業、国民はそれぞれ、“何が出来るか？”“何をしたいか？”、考えるきっかけになれば幸いです。

参考



(引用元)
 内閣官房WEBサイト
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/index.htm